

April 2024
National
Noh Theatre

令和六年
四月

定例公演

4月10日(水) 午後1時開演

狂言 二九十八

三宅 右矩 (和泉流)

能 嵐山

栗谷 明生 (喜多流)

普及公演

4月13日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない
悲劇の英雄に
捧げる愛と忠節

坂井 孝一
(創価大学教授)

狂言 靱猿

茂山忠三郎 (大蔵流)

能 吉野静

櫻間 右陣 (金春流)

国立能楽堂ショーケース

4月19日(金) 午後7時開演

◆体験コーナー 午後5時30分開始 (ロビーにて行います)
◆プレトーク(解説) 午後6時30分開始 (舞台にて行います)

狂言 鎌腹

野村万之丞 (和泉流)

能 土蜘蛛

松木 千俊 (観世流)



For details
(English)



予約開始
3月10日(日)午前10時~
窓口販売開始=3月11日(月)
(チケット売場 午前10時~午後6時)
※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

〔電話〕国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時)
0570-07-9900 03-3230-3000 (都庁電話番号)
〔インターネット〕 **国立劇場チケットセンター** 検索
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

入場料金
<定例・普及公演> 正面¥5,500・脇正面¥3,700・中正面¥3,300
学生: 脇正面¥2,600・中正面¥2,300
<国立能楽堂ショーケース>
正面¥3,500・脇正面¥3,000・中正面¥2,500
学生: 脇正面¥2,100・中正面¥1,800
◎お誘い割..... 正面¥3,150・脇正面¥2,700・中正面¥2,250
※同一等級の座席を2枚以上同時に購入するお客様が対象です。
※チケットぴあ、イープラスでの取り扱いはございません。

※全公演字幕付です(日本語・英語)。※インターネットでも学生料金・障害者割引(2割引)による申し込みが可能です。
車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

National Noh Theatre April 2024
Noh/Kyogen Performances: April 10 (Wed.) 1 pm, April 13 (Sat.) 1 pm, April 19 (Fri.) 7 pm
Tickets: ¥2,500-¥5,500 On Sale: March 10 (Sun.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00[JST])
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.

定例公演

4月10日(水) 午後1時開演

二九十八

狂言【和泉流】

シテ/男 三宅右矩
アド/乙 三宅近成

嵐山

能【喜多流】

前シテ/花守の翁
後シテ/蔵王権現

粟谷明生 谷友矩 狩野祐一 金子龍晟 福王子 矢野和幸 村瀬昌平 高澤祐介 榎宅聡 観世新九郎 柿原弘和 大鼓 前川光範 太鼓 狩野了範 後見 佐々木多門 佐藤陽 栗谷充雄 友枝真也 金子敬一郎 大島輝久 長島茂 塩津圭介 内田成信

終演予定午後3時15分頃

普及公演

4月13日(土) 午後1時開演

悲劇の英雄に捧げる愛と忠節

解説・能楽あんない 坂井孝一 (創価大学教授)

鞆猿

狂言【大藏流】

替装束

シテ/大名 茂山忠三郎
アド/太郎冠者 大藏基誠

アド/猿引 大藏彌右衛門
子方/猿 茂山緑里

大藏彌太郎 吉田信海 小梶直人

吉野静

能【金春流】

シテ/静御前

ワキ/佐藤忠信

大原櫻子 大藏教義 上田圭輔 左田泰弘 幸谷信吾 谷口正壽 長谷猪一郎 後見 伊藤真也

萩野将盛 山一馬 政木哲司 本田光洋 柴山暁 辻井八郎 氷見啓明 中村昌弘

終演予定午後4時頃

国立能楽堂 ショーケース

4月19日(金)

午後5時30分開演・午後6時30分終了(ロビーにて) ◆体験コーナー【楽器体験】

◆プレトーク 山階彌右衛門 (シテ方観世流)

◎当日のチケットをお持ちの方は事前のお申込みなしでご参加いただけます。◎詳細は国立能楽堂ホームページをご参照いただくか、国立能楽堂企画制作課(03-3423-1133・1代)までお問い合わせください。

鎌腹

狂言【和泉流】

シテ/太郎 野村万之丞
アド/妻 能村晶人

土蜘蛛

能【観世流】

前シテ/蜘蛛の精
後シテ/土蜘蛛の精

松田千典 武田亮二 田口宗亮 久田祥志 田口英博 則田善弘 武田一介 則田恭資 小野拳之介 野村邊一 野村寺郎 小野寺資

田口久田 田口英博 田口祥志 田口亮二 田口宗亮 田口善弘 田口一介 田口恭資 田口資

佐川勝貴 岡庭祥大 金子文志 津田和忠 武田昌司 中島克宏 野村昌司

終演予定午後8時30分頃 ※途中休憩はございません。

二九十八 清水の観世首へ妻をいに出掛けた男。ご霊夢により女と巡り合うもつかの間、女は一首の歌と「二九」という言葉を残して去って行ってしまいます。男はそれを手掛かりに女の住まいをめぐり探して見つけます。満開の桜の下、舞い戯れる吉野の神々

嵐山 かつて吉野から移された京都嵐山の桜は今が盛り。嵐山を訪れた勅使が出会った花守の老夫婦は、嵐山の桜が神木とされる謂れを語ります。老夫婦が姿を消すと木守明神、勝神明が現れ舞を舞い、蔵王権現の来臨を迎えます。吉野の神々が桜に満ちた春を奏ぐ金春権現による華やかな作品です。

鞆猿 気晴らしに遊山へ出掛けた大名は猿引に出会います。猿引が連れてくる猿の毛並みの良さに魅了された大名は、こともあろうに猿皮を鞆(矢を入れる道具)の皮にしたいと言いついて。小猿の姿も愛くるしい佳品を小書「替装束」にてお楽しみいただきます。

吉野静 静御前と源義経の家臣・佐藤忠信は吉野の衆徒を欺き、主君・源義経を落ち延びさせるための策を巡らします。そして静は、義経が吉野山から逃げ出す時間を稼ぐために、緊迫した状況の中で優美な法衆の舞を舞い、義経の身を衆徒たちの手から守るのでした。

土蜘蛛 日頃の怠け癖を妻にこっぴどく責め立てられた太郎。鎌で自ら腹を切つて死のうと思いい立ちますが、なかなか決心がつかず。何度か失敗を重ねた太郎は、勇壮な武者の土蜘蛛退治

土蜘蛛 病に苦しむ源頼光を襲った謎の僧の正体は葛城山に住む土蜘蛛の精でした。主君の危機に駆けつけた頼光は、頼光の命を受け、従者を伴い土蜘蛛退治へと向かいます。蜘蛛の糸が舞台一面に広がり、迫力ある激しい戦いが繰り広げられる人気曲です。

【国立能楽堂ショーケース】 能・狂言を初めてご覧になる方にも親しみやすい作品をコンパクトに上演します。開演前には体験コーナーやプレトークもごさいいますので種つてご参加下さい。

